

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	076	広報活動・情報公開の充実				
総合計画	基本目標	総合計画の実現に向けて（行財政運営）			主担当部課名	政策総務部 広報課
	基本施策	01	市民の参画意欲を高める市政運営			
めざす姿	市民誰もが、本市の情報を簡便に入手することができ、行政サービスを利用したり、様々な活動を行ったりしています。また、市民が市政への関心を高め、積極的に市政情報を入手し、本市と協働で地域課題の解決に取り組んでいます。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	262,304,000	94,727,000	84,442,000			
国庫支出金	29,000	29,000	25,000			
都支出金	0	0	0			
市債	72,000,000	0	0			
その他	61,611,000	114,000	221,000			
一般財源	128,664,000	94,584,000	84,196,000			
予算現額	239,069,000	94,479,000	0			
決算額	230,426,989	92,649,644	0			
国庫支出金	7,229,000	25,000	0			
都支出金	0	0	0			
市債	67,000,000	0	0			
その他	58,113,123	204,280	0			
一般財源	98,084,866	92,420,364	0			
執行率	96.4	98.1	0.0			
(人件費)						
職員数	8.34	8.34	0.00			
職員人件費	64,092,677	65,536,504	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	6,298,315	6,494,942	0			
総コスト	300,817,981	164,681,090	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合	18.9	実績	16.6	-	-	-	15
	%	達成率	90.4	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合が前年より減った要因は、広報紙の希望配布や行政情報アプリ「マチイロ」、市政情報センターの利用など、自ら情報を求める方が増加し、容易に情報を入手できていると考えられる。今後さらにわかりやすい情報発信に努め、市政情報を簡便に入手できるように配慮が必要である。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	▽広報紙の特集ページ作成に向け、掲載内容の精査や記事の記載方法を変更。 ▽文書検索目録の公開を開始。			
達成できていない点	▽広報紙におけるより訴求力のある紙面づくり（特集など）			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

広報紙は新聞折込みの配布に加え、新聞未読読世帯への対策として希望配布制度を実施し、平等な市政情報の提供を図った。また、平成30年度は、広報紙の特集ページ作成に向け、掲載内容の精査や記事の記載方法を変更し、平成31年度4月1日号から適用。平成29年度は、広報紙4月1日号から行政情報アプリ「マチイロ」で掲載、広報紙8月11日号からサークルK・サンクスでの広報紙の配布を始めた。4月からふちゅこまツイッターを開始し、市の魅力を発信した。府中市の魅力を市内外に伝えるため、市勢要覧を刊行した。平成28年度に広報紙のカラー化・ARの導入を行い、視覚に訴える情報発信手法を充実した。ホームページはユニバーサルデザインに配慮し、誰もが利用しやすい運用を行い、質の高い水準を維持している。平成25年度にはサーバをデータセンターに移設して、より安定的に管理・運用できる体制を整備したほか、平成26年3月にトップページを中心としたリニューアルを実施し、より利用しやすいものへと改善した。メール配信サービスは平成24年度から開始し、これまでの防犯・防災等の情報に加え、市政全般の情報を配信できるようにしたほか、平成27年度からは気象・地震情報の即時配信を開始するなど、配信する情報を充実させた。

市政情報公開室や市政情報センターにおいて、市政情報の積極的な発信及び公開を進めてきた。また、公文書の開示請求に対し、個人情報の保護に配慮しつつ、請求者が必要とする公文書の迅速な開示を行ったほか、文書検索目録の公開をホームページ上で開始した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

市民の様々な活動に応じて、必要とする情報や情報を得るための手段も多様化しているため、より効果的かつ効率的な情報提供が求められている。市民が必要とする市政情報を入手しやすくなるよう、文書検索目録について周知する必要がある。

今後の展開

わかりやすく関心を高める情報発信に努めるとともに、様々な情報提供手段を活用した効果的な情報発信を進める。市民が自主的に活動するために、必要な情報が入手しやすい環境の整備を図る。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 情報公開・個人情報保護事業	30		366,000	101,536	366,000	情報公開制度及び個人情報の保護 に関して適正な運営を図る。	B	1
2 市政情報公開室運営事業	30		2,687,000	2,573,749	2,769,000	市政情報公開室の運営	B	1
3 市政情報センター運営事業	30		4,889,000	4,510,816	4,562,000	市政情報センターの運営	B	1
4 広報事業	30		86,785,000	85,463,543	76,745,000	市民が必要とする情報、市が伝え たい情報の発信	B	1
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			94,727,000	92,649,644	84,442,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	077	広聴活動の充実				
総合計画	基本目標	総合計画の実現に向けて（行財政運営）			主担当部課名	政策総務部 広報課
	基本施策	01	市民の参画意欲を高める市政運営			
めざす姿	公正・透明な市政運営の中で、市民が市政に関心を持ち、様々な手段で意見を述べています。一方、市は、多くの意見の中からの的確に市民ニーズを把握し、市政運営に反映しています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	2,461,000	2,341,000	2,617,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	45,000	45,000	46,000			
一般財源	2,416,000	2,296,000	2,571,000			
予算現額	2,312,000	2,341,000	0			
決算額	2,083,749	2,142,158	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	31,140	54,640	0			
一般財源	2,052,609	2,087,518	0			
執行率	90.1	91.5	0.0			
(人件費)						
職員数	1.18	1.18	0.00			
職員人件費	9,078,283	9,272,551	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	892,112	918,947	0			
総コスト	12,054,144	12,333,656	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
市民の意見を聴く体制が整備されていないと感じる市民の割合	25.9	実績	17.3	-	-	-	15
	%	達成率	86.7	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

市長が直接市民の意見に答える「市長と語る会」などの市政懇談会を継続して実施していることや、市長への手紙などで寄せられた市民からの意見や要望に真摯に回答・対応することなどが評価の向上につながったと推察されるが、今後もより多くの市民の意見を聞くための各広聴手段の充実が求められている。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	市政懇談会や市政世論調査などを計画どおり実施できた。 なお、市長と語る会では、外国人留学生や大学生との懇談を行い、若者の意見を聞くことができた。			
達成できていない点				

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

市政懇談会として、自治会長やPTAとの懇談会に加え、平成24年度から市長と語る会を実施することで、市長が直接市民の声を聞く機会を増やし、市民の意見や要望を的確に把握し、迅速に市政に反映できるようになった。
市政世論調査を継続して実施することで、市民の意見や要望の経過的な変化やその時々課題が把握でき、事業を進めるうえで参考となった。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

人口構成などに起因する社会構造の急激な変化に伴い、その時々課題に対して適切に市民サービスが提供できるよう、より的確な市民ニーズの把握が必要となる。また、市民の市政への積極的な参画を促すために、市民の意見が市政へどのように活用・反映されたかを市民にわかりやすく公表することが求められている。

今後の展開

市政懇談会を継続して実施する。
時勢の課題にあった特設設問など市政世論調査の充実を図る。
若者など様々な世代を対象に、より多くの市民の声を得られ、それに迅速に答えることができる広聴手段を研究する。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 広聴事業	30		2,341,000	2,142,158	2,617,000	市政に対する意見・要望等を聴取し、今後の行政運営上の参考に資する。	B	1
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			2,341,000	2,142,158	2,617,000			